

経済産業省「デジタル時代の人材政策に関する検討会」
試験ワーキンググループ（第4回）：議事要旨

1) インターネット試験の実証試験 結果報告

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）より、令和4年10月から12月にわたって実施された情報処理技術者試験におけるIBT（Internet Based Testing）／CBT（Computer Based Testing）の導入に関する実証試験の結果についての報告が行われ、実証試験における検証結果と今後の方向性について、ゲストスピーカーを交えた審議をもとに了解された。

2) デジタルスキル標準を踏まえた検討の方向性について

経済産業省より、令和4年12月に策定ならびに公表されたデジタルスキル標準の概要と、情報処理技術者試験における同基準への対応に関する検討の方向性について説明が行われ、人材育成の推進における試験の活用制をより高める観点から、以下の各点に関する検討を進めていくことについて了解された。

- 出題内容と「共通スキルリスト」の紐付け
- 高度午後等の試験問題のケース教材化
- 試験実施における運営効率の改善方法
- 試験問題の公開の在り方
- 大学等教育側における試験活用の実態やニーズ等の把握
- 試験での評価に馴染むスキル領域と難しいスキル領域を整理
- 出題の意図等のさらなる情報発信の在り方
- 試験の公正性に留意したうえで、教材や学習に関する受験産業等との対話の在り方
- これらの取組み等を通じた試験体系の課題の整理

以上の議論を踏まえ、次回の試験ワーキンググループ（第5回）においても試験制度改革について引き続き検討を行うこととなった。

以上